

教科・科目	保健体育・体育生涯スポーツ	単位数	2単位	学年・学級	3年I群
使用教科書	『現代高等学校保健体育』	副教材	『アクティブスポーツ』		

学校教育目標	郷土を愛し たくましく生きよう 自ら学ぶ意欲を持ち続けよう					
育成を目指す資質・能力	傾聴力	○	協働力	◎	議論する力	○
	自省力	◎	理解力	○	批判力	
	自己実現力	◎	表現力	◎	情報活用力	
学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会におけるスポーツの意義を理解し、生涯にわたって、運動やスポーツにひたしむ態度を養う。 ・様々なニューススポーツやレクリエーションを通して、個人の体力、性別、経験に応じてルールを柔軟に捉え、楽しむことができる。 ・運動の企画・運営を行うことができる力を身につける。 					

評価の観点

	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③知識・理解	④技能
A 使える	ルールやマナーを守り、取り組むべき課題を明確に把握し、課題に応じ主体的に運動に取り組むことができる。	既習の知識や技能を活用し、自己や仲間の課題に応じた解決に向け計画を立て実践し、他者にわかりやすく伝えることができる。	技の名称やルールの知識に加え、現代スポーツの特性を理解するとともに、運動の効率的な学習の仕方を理解できる。	自己の能力と運動の特性に応じた段階的な技能を身につけ、活用することができる。
B わかる	ルールやマナーを守り、取り組むべき課題を把握し、主体的に運動することができる。	既習の知識や技能を活用し、自己や仲間の課題に応じた解決に向け計画を立て実践し、他者に伝えることができる。	技の名称やルールの知識に加え、現代スポーツの特性を理解することができる。	自己の能力と運動の特性に応じた段階的な技能を身につけることができる。
C できる	主体的に運動に取り組むことができる	既習の知識や技能を活用し、自己の課題に応じた解決に向け計画を考えることができる。	技の名称やルールを理解することができる。	自己の能力に応じた技能を身につけることができる。
D	A、B、Cいずれにも該当しない。	A、B、Cいずれにも該当しない。	A、B、Cいずれにも該当しない。	A、B、Cいずれにも該当しない。
具体的改善策	授業において主体的に運動に参加する。	・WS、GWノートに自己の課題や仲間からのアドバイスを記入する。	・審判に積極的に挑戦する。	・基礎基本技術を身につける。
評価基準	(30 点) A: 21点 ~ 30点 B: 11点 ~ 20点 C: 1点 ~ 10点	(30 点) A: 21点 ~ 30点 B: 11点 ~ 20点 C: 1点 ~ 10点	(20 点) A: 14点 ~ 20点 B: 8点 ~ 13点 C: 1点 ~ 7点	(20 点) A: 14点 ~ 20点 B: 8点 ~ 13点 C: 1点 ~ 7点
	何で評価するか ・ワークシート ・取り組み状況 ・単元毎の振り返り	何で評価するか ・ワークシート ・グループでの話し合い、発表	何で評価するか ・ワークシート ・審判	何で評価するか ・試合

【学習計画】

月	単元	学習の目標【評価の観点：評価方法】	自己評価	実際評価
4	ドッチビー アルティメット	☞前期の目標		
		・体力の違いに配慮し、勝敗を冷静に受け止め、ルールやマナー、フェアプレイを大切にすることができる。【①：取り組み状況】 ・生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指し、自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方を工夫することができる。【②：WS】		
5	テニボン	・運動を楽しむことができるよう、ルールやマナー、フェアプレイを大切に、運動に主体的に取り組むことができる。【①：取り組み状況】		

月	単元	学習の目標【評価の観点：評価方法】	自己評価	実際評価
6	テニス	・仲間に対して技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘し、自己のチームや相手のチームにあった作戦を組み立てることができる。 【②、③：取り組み状況、WS】		
		・技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げることができる。 【③：WS】		
7	パークゴルフ 卓球	・個人の技能に応じてクラブ操作をすることができる。【①：取り組み状況】		
		・技能に応じた練習の選択、天候の変化や炎天下などの自然環境の中での安全の確保など態度形成のもととなる知識について理解することができる。 【③：取り組み状況】		
		・サーブ、レシーブ、スマッシュ、カットなどの技能を用いて返球場所をコントロールしたり、相手の隙をついたりして攻防をすることができる。 【④：取り組み状況】		
8	カヌー	・自然を活かした特色のある運動を通して、作る楽しさ、運動の楽しさを実感し、あわせて郷土を理解し生涯にわたって運動に親しむ態度、能力を身につけることができる。【①、③：取り組み状況】		
		・安全性についての配慮、準備、片づけを自主的に行う態度、能力を身につけることができる。【①：取り組み状況】		
9	フットサル	・集団として運動を楽しむことができるよう、体力違いに配慮し、運動に主体的に取り組むことができる。【①：取り組み状況】		
		・仲間に対して技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘し、自己のチームや相手のチームにあった作戦を組み立てることができる。 【②：取り組み状況、WS】		
		・ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを高めて身につけることができる。【②：取り組み状況、WS】		
		☞振り返り【②～④：全ての授業】 【①：スキルテスト】		
10 11	ミニバレー	☞後期の目標		
・集団として運動を楽しむことができるよう、体力の違いに配慮し、運動に主体的に取り組むことができる。【②：取り組み状況】				
・仲間に対して技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘し、自己のチームや相手のチームにあった作戦を組み立てることができる 【②：取り組み状況、WS】。				
・球技の特性に応じて、ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを高めて身につけることができる。 【③、④：取り組み状況、WS】				
12	フロアカーリング ボッチャ	・標的までの距離や方向、スピードや回転をコントロールするための体の動きを身につけることができる。【④：取り組み状況】		
		・体力や技能の程度、性別など違いを超えて、スポーツを楽しむために調整したマナーを実践することができる【①：取り組み状況】		
1 2 3	ユニホック	・仲間に対して技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘し、自己のチームや相手のチームにあった作戦を組み立てることができる。 【②：取り組み状況、WS】		
☞振り返り【②～④：全ての授業】 【①：スキルテスト】				

☞最終評価（自己評価／実際評価）

①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③知識・理解	④技能

